

高付加価値商品の開発で新たな需要を開拓 フランチャイズ展開で本場の味を海外へ

京都辻利よりのれん分けする形で北九州市に拠点を構え、1956年に法人化。主な業態は茶卸、小売、喫茶店営業、茶道具販売等。日本茶の可能性を若者や海外に伝えるため、「抹茶カフェ」というサービス形態に国内外でいち早く取組み、新たな需要を開拓。現社長のリーダーシップのもと、国内4店舗の直営に加え海外展開にも注力。現在13か国に抹茶カフェを展開し、日本でしか味わえなかった本物の抹茶の味を現地ローカル化に成功。

●所在地 福岡県北九州市小倉北区魚町3-2-19

●設立 1923年

●電話/FAX 093-521-6514/093-522-1291

●資本金 1,000万円

●URL <http://www.tsujiri.co.jp/>

●従業員数 40人

●代表者 代表取締役 辻 史郎



業界に先駆けた喫茶サービスで国内外の需要を開拓

1993年に業界に先駆け日本茶に特化したカフェを展開し、若年層を中心に新たな需要を開拓。2010年から台湾の企業と提携し海外進出。現在13か国に48店舗で抹茶スイーツに特化したカフェ「TSUJIRI」をフランチャイズ展開し、台湾統括オフィスのもと、国ごとのニーズを踏まえた商品開発を推進。フランチャイズの選定と育成をシステム化しグローバルな均一品質を徹底。本物の味の抹茶を海外で楽しめることを可能にし、海外ファンのニーズを捉えることで、海外事業は売上の4割を占めるように成長。



京町店

自由な発想で挑戦することを武器とし、高付加価値商品を開発

「スタンスはローカル、ビジョンはグローバル」という理念を徹底実践。国内でスイーツ製造業に新たに取り組む、特定産地に限らず全国のあらゆるお茶に通じ、各地のお茶と地域資源を活かした10種類以上のスイーツを開発。台湾では現地企業とのコラボで高付加価値ギフトを開発し、抹茶スイーツ商品がコンビニ3,000店舗に進出。抹茶は受注後に製造開始し、徹底管理した品質と新鮮さによって日本と同等の品質を可能にしている。また、社長が率先して国内外でお茶のセミナー等を開催しお茶文化の普及にも尽力。



海外のお客様にお点前

若手後継者の育成、外国人の活用で海外展開が加速

海外のカフェ・スイーツ事業を事業の軸に成長させるために、現地人材を活用し、海外・日本のスタッフとともに育成に力を入れている。ITツールを活用し、レシピを動画撮影のうえ多言語（日、中、英）で教育し、効率化とクオリティの維持を同時に実現している。また、年に一度海外スタッフに日本での茶摘み体験研修、日本のスタッフに海外研修といったインタラクティブな研修を実施し、経験や知識の向上につながり、離職率の低減や新規雇用者の確保にも寄与している。



海外スタッフによる八女の茶畑、茶摘み研修